



## 2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月28日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルプス物流  
コード番号 9055 URL <https://www.alps-logistics.com/jp/ir/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 臼居 賢  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部副本部長 (氏名) 亀田 智文 TEL 045-532-1982  
(経理・財務担当) 兼  
経営企画・ESG担当  
四半期報告書提出予定日 2022年11月8日 配当支払開始予定日 2022年11月30日  
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
四半期決算説明会開催の有無： 有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	62,381	11.1	4,204	31.4	5,094	72.2	2,975	74.0
2022年3月期第2四半期	56,130	25.4	3,200	119.9	2,958	104.1	1,710	114.5

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,716百万円 (104.9%) 2022年3月期第2四半期 2,301百万円 (102.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	84.04	83.84
2022年3月期第2四半期	48.33	48.21

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	102,182	63,466	55.2	1,592.20
2022年3月期	92,020	59,709	57.7	1,500.21

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 56,406百万円 2022年3月期 53,109百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
2023年3月期	—	16.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	23.00	39.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	121,000	6.3	6,900	14.6	7,300	18.4	4,200	16.7	118.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	35,474,400株	2022年3月期	35,474,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	47,488株	2022年3月期	72,988株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	35,412,037株	2022年3月期2Q	35,389,602株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年4月～9月)における世界経済は、米国では堅調な雇用情勢や個人消費に支えられ景気は底堅く推移しましたが、高インフレに対する金融引き締めなどにより減速懸念が高まっています。欧州ではロシア・ウクライナ情勢に伴うエネルギー危機などが重石となり、成長率が鈍化しました。中国においてはゼロコロナ政策によるロックダウンなどが経済活動の制約となり、政策効果の下支えはありましたが力強さを欠くものとなりました。日本経済は、コロナ感染対策や物価上昇の影響を大きく受け、サービス業、製造業ともに業種による好不調のまだら模様があり、回復力は弱いものとなりました。

このような事業環境下、当社は世界の各地域でコロナ感染対策に十分注意を払い、各国において異なる規制に対応しながら、顧客のサプライチェーンの変化に対応すべく、サービスの向上と新規拡販に取り組みました。

当社は当期より3カ年の第5次中期計画をスタートしました。企業理念であるお客様ごとの「最適物流」の追求を続けるとともに、物流事業を通じて社会課題の解決に貢献することを目指し、基本方針を「地球と社会にやさしく・最適物流の追求と進化」と決めました。

中期計画初年度の当期より次の戦略・施策を推進しグローバルにビジネスの拡大を図っております。

- ①G T B (Get The Business / 市場と商品の拡大) : ビジネス領域の拡大。グローバルネットワークの充実。協創・提携体制の拡充。
- ②G T P (Get The Profit / 間・直の生産性向上) : 省人化・自働化の推進。戦略投資の拡大と確実な刈取り。DXへチャレンジ。
- ③G T C (Get The Confidence / サステナビリティの追求) : ESG対応の強化、安全・高品質の維持確保。非財務資本の維持・強化。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は62,381百万円(前年同期比 11.1%増)、営業利益は4,204百万円(同 31.4%増)、経常利益は為替の円安の影響もあり5,094百万円(同 72.2%増)と大幅に増加、親会社株主に帰属する四半期純利益も2,975百万円(同 74.0%増)となりました。

#### <セグメントの概況>

##### ①電子部品物流事業

当事業の主要顧客である電子部品業界においては、半導体・電子部品などの不足は解消しつつありますが、十分な供給量には至らず、不足感は当面継続するものと思われます。また、自動車生産は徐々に回復に向かうものの、電子機器は需要の停滞も見られ、電子部品の荷動きは総じて伸び悩みました。

当第2四半期連結累計期間においては、依然として航空・海上輸送のひっ迫が継続しており、緊急航空貨物など輸出入関連が引き続き高水準を継続したことや新規顧客への拡販効果などにより売上高が増加しました。利益面では、国内における物量減に伴う効率悪化などの影響がありましたが、増収効果と生産性向上の取り組み、為替の円安の影響もあり増益となりました。

当セグメントの業績は、売上高36,128百万円(前年同期比 16.9%増)、営業利益2,983百万円(同 36.4%増)となりました。

##### ②商品販売事業

商品販売事業では、電子部品に関連する包装資材・成形材料・電子デバイスの販売を行っています。当社では、調達と物流を一元化した電子デバイスの調達代行の提案、物流改善を意識した包装資材の提案を特長としております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、成形材料・電子デバイスが、中国向けの情報通信機器関連で増加したことなどにより売上高が増加しました。利益については、増収効果と原価率の改善、為替の円安の影響もあり増益となりました。

当セグメントの業績は、売上高12,405百万円(前年同期比 6.5%増)、営業利益623百万円(同 60.1%増)となりました。

③消費物流事業

消費物流分野では、小売企業の宅配サービスや通販ビジネスの成長に伴って需要が拡大している一方、ドライバーを始めとする人材確保・育成が、業界全体の課題となっています。

このような事業環境下、当社グループで消費物流を担う㈱流通サービスは、消費物流の川上にあたる企業間物流の取り込み、メディカル・化粧品などの商品センター業務の拡大、生協宅配ビジネスの拡大に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間においては、コロナウイルスに伴う巣ごもり需要は一巡し宅配関連は横ばいで推移しましたが、前期より稼働を開始したメディカル関連が寄与したことや、新規拡販により売上高は増加しました。利益については、倉庫修繕費や減価償却費、新拠点設立費用などのコスト増加要因があり減益となりました。

当セグメントの業績は、売上高13,847百万円(前年同期比 2.1%増)、営業利益596百万円(同 4.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

前連結会計年度末と比較した当第2四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

資産については、流動資産が現金及び預金、受取手形及び営業未収金などの増加により、9,421百万円増加しました。固定資産は、有形固定資産、投資その他の資産の増加により739百万円増加しました。これにより資産合計は、前連結会計年度末比10,161百万円増の102,182百万円となりました。

負債については、営業未払金の増加などによって流動負債は2,537百万円増加しました。固定負債は長期借入金の増加などにより3,868百万円増加しました。これにより負債合計は、前連結会計年度末比6,405百万円増の38,716百万円となりました。

純資産については、利益の確保による増加に対し、配当金支払などによる減少があり、前連結会計年度末比3,756百万円増の63,466百万円となりました。

自己資本比率は、前連結会計年度末比2.5ポイント低下し、55.2%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末の残高は、前連結会計年度末と比べ6,208百万円増加し、28,340百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は、税金等調整前四半期純利益5,086百万円等により5,010百万円(前年同期比1,564百万円の収入増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は1,624百万円(前年同期比862百万円の支出増)となりました。主な支出内容は、新倉庫建設や生産性向上のための有形・無形固定資産の取得です。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は1,943百万円(前年同期は1,794百万円の使用)となりました。主な収入は長期借入4,200百万円、支出はリース債務返済1,204百万円、配当金支払い601百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

経済環境は世界的な高インフレと金融引き締めによる景気後退、中国ゼロコロナ政策の影響、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、米中対立など、景気の先行きに不透明感が強まっています。当社の主要顧客である電子部品業界においては、半導体・部品不足が徐々に解消に向かうことに伴い、生産における供給面の制約は解消に向かう一方、需要鈍化に伴う生産への影響などにより、当社の貨物取扱量も影響を受ける可能性があります。

2023年3月期の連結業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績が期初予想に対して好調に推移したことから、2022年10月28日付「2023年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との差異及び2023年3月期連結業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」で開示したとおり予想を変更しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,745	28,925
受取手形及び営業未収金	17,691	20,505
商品	2,152	2,253
その他	2,531	2,858
貸倒引当金	△18	△19
流動資産合計	45,101	54,523
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,760	11,645
土地	17,966	17,986
その他(純額)	10,480	10,954
有形固定資産合計	40,208	40,587
無形固定資産		
その他	3,871	3,883
無形固定資産合計	3,871	3,883
投資その他の資産		
投資有価証券	122	146
その他	2,718	3,041
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	2,839	3,187
固定資産合計	46,919	47,658
資産合計	92,020	102,182
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	11,525	12,951
短期借入金	2,056	2,070
未払法人税等	1,183	1,389
賞与引当金	1,777	2,053
役員賞与引当金	—	13
その他	6,400	7,002
流動負債合計	22,943	25,480
固定負債		
長期借入金	988	5,121
役員退職慰労引当金	33	35
退職給付に係る負債	1,767	1,825
その他	6,577	6,252
固定負債合計	9,367	13,235
負債合計	32,311	38,716

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,349	2,349
資本剰余金	1,999	1,972
利益剰余金	47,092	49,466
自己株式	△50	△33
株主資本合計	51,389	53,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7	24
為替換算調整勘定	1,862	2,762
退職給付に係る調整累計額	△150	△135
その他の包括利益累計額合計	1,719	2,651
新株予約権	53	53
非支配株主持分	6,547	7,006
純資産合計	59,709	63,466
負債純資産合計	92,020	102,182

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	56,130	62,381
売上原価	49,275	54,283
売上総利益	6,854	8,098
販売費及び一般管理費	3,654	3,894
営業利益	3,200	4,204
営業外収益		
受取利息	33	37
受取配当金	2	4
為替差益	—	782
その他	78	214
営業外収益合計	114	1,038
営業外費用		
支払利息	117	132
為替差損	177	—
その他	60	16
営業外費用合計	355	148
経常利益	2,958	5,094
特別利益		
固定資産売却益	6	1
その他	—	0
特別利益合計	6	1
特別損失		
固定資産除売却損	12	9
特別損失合計	12	9
税金等調整前四半期純利益	2,952	5,086
法人税、住民税及び事業税	1,003	1,476
法人税等調整額	△112	41
法人税等合計	890	1,518
四半期純利益	2,061	3,568
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,710	2,975
非支配株主に帰属する四半期純利益	351	592
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	17
為替換算調整勘定	221	1,111
退職給付に係る調整額	14	18
その他の包括利益合計	239	1,147
四半期包括利益	2,301	4,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,874	3,908
非支配株主に係る四半期包括利益	426	808

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,952	5,086
減価償却費	1,788	2,143
売上債権の増減額 (△は増加)	856	△2,233
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△261	△47
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,123	1,148
その他の負債の増減額 (△は減少)	△66	△62
その他	350	315
小計	4,496	6,350
利息及び配当金の受取額	35	39
利息の支払額	△118	△130
法人税等の支払額	△974	△1,249
その他	6	0
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,445	5,010
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△259	△865
有形固定資産の売却による収入	5	3
無形固定資産の取得による支出	△435	△389
その他	△72	△372
投資活動によるキャッシュ・フロー	△762	△1,624
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	3
長期借入れによる収入	—	4,200
長期借入金の返済による支出	△66	△66
リース債務の返済による支出	△739	△1,204
配当金の支払額	△530	△601
非支配株主への配当金の支払額	△457	△386
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,794	1,943
現金及び現金同等物に係る換算差額	130	878
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,018	6,208
現金及び現金同等物の期首残高	19,609	22,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,627	28,340

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結財務諸表計上額(注)
	電子部品物流事業	商品販売事業	消費物流事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	30,918	11,646	13,564	56,130	—	56,130
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	30,918	11,646	13,564	56,130	—	56,130
セグメント利益	2,187	389	623	3,200	—	3,200

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結財務諸表計上額(注)
	電子部品物流事業	商品販売事業	消費物流事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,128	12,405	13,847	62,381	—	62,381
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	36,128	12,405	13,847	62,381	—	62,381
セグメント利益	2,983	623	596	4,204	—	4,204

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と一致しております。